

平成30年度 国語「古典B」SYLLABUS

単位数	5単位	学科・学年・学級	普通科 第3学年 特理(国公立)クラス
教科書	精選 古典B(三省堂)	副教材等	新訂 最新国語便覧(いづな書店) 新しい古典文法(桐原書店) 漢文必携(桐原書店) 古文・漢文グレード2(桐原書店)

1. 学習の到達目標

- ① 古典作品に親しむ。
- ② 古典文法を理解し、語彙力をつける。
- ③ 作品背景を理解する。

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	古文随筆	ありがたきもの(枕草子) 大納言参り給ひて	・当時の宮廷生活について理解する(毛抜きは常に使う)。 2、3、4段落は一言で言うとは何を表しているか考える。 ・伊周19歳、定子16、(隆家14)、一条帝13、清少納言27 伊周は漢学の第一人者、容姿端麗、政治力無し。 独りごつ、驚く、指貫、袖をひかふ等の語彙を学ぶ。 漢籍の知識を踏まえての「鶏」からの連想、函谷関。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	5	漢文史伝	三国志の世界 「乱世之姦雄」 「左右莫敢近者」	・漢文の基本構造を理解し、読解する。 魏：三国志の主人公 曹操孟徳 黄巾の乱。 呉：若き後継者 孫権、人材登用、周瑜 蜀：劉備玄德、桃園の誓い、三顧の礼、天下三分の計。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	6	古文物語 古文日記	廃院の怪(源氏物語) ※源氏物語の世界 うつろひたる菊(蜻蛉日記)	・源氏と葵の上、六条御息所、車争い、生き霊。 ・通ひ婚(政略結婚・恋愛結婚)、藤原兼家の家庭内事情。 接続助詞前後での動作主体の継続、変化を把握する。 方塞がりの方違へ。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	7	古文日記 漢文史伝	夢よりもはかなき世の中を(和泉式部日記) ※日記文学の文学史 刎頸之交(史記)	・敬語の種類、使役、接続助詞等で動作主体を把握する。 文法・語彙、人物関係、双方から和歌を解釈する。 ・漢文の基本構造を理解し、読解する。 所以・況んや等の語義、羞・肯・畏・讎などの字義。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	9	古文日記 古文物語	和泉式部と清少納言(紫式部日記) 東風吹かば(大鏡)	・「む」の識別 ・歴史物語の特徴を理解する。 道真の祟り→太宰府天満宮→鎮魂→学問の神様(天神様)	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	10	古文物語	三舟の才(大鏡)	・「影をば踏まで」→「三舟の才」 ※藤原公任と藤原道長	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	11	漢文思想	孟子 荀子	・儒教の徳治主義、五常(仁、義、礼、智、信)、性善説 ・生涯学習「学は以て已む可からず」	・発問評価 ・提出課題

		老子 莊子 ※諸氏の思想と寓話	・道家の無為の治 ・無為自然、道教の祖	・問題集 ・定期考査
12	古文評論	古今和歌集仮名序 ※勅撰和歌集(八代集) 俊頼髓脳 無名抄	・一段落暗唱、「三十一文字(みそひともじ)」 巻頭に仮名序、巻末に真名序 ・折句→沓冠折句→入試問題演習 ・古文の評論文を読解する。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしているか。
読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め発展させているか。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。

4. 評価法

授業に取り組む姿勢や授業中の発問評価で関心・意欲・態度の評価を行う。
学習プリント、問題集の提出、定期考査で読む能力、知識・理解度の評価を行う。

5. 担当者からのメッセージ

第一に、様々な古典文学作品に触れることで日本語文化の背景を経験的に理解したい。
第二に、語彙・文法の知識と、時代背景の理解との、両面からの読解力を身に着けたい。

平成30年度 国語「古典B」SYLLABUS

単位数	5単位	学科・学年・学級	普通科 第3学年 特文・進文クラス
教科書	精選 古典B (三省堂)	副教材等	改訂増補 最新国語便覧(浜島書店) 改訂版 古文単語330 新しい古典文法(桐原書店) 漢文必携(桐原書店) 古文・漢文グレード2(桐原書店)

1. 学習の到達目標

- ① 古典作品に親しむ。
- ② 古典文法を理解し、語彙力をつける。
- ③ 作品背景を理解する。

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	古文随筆	ありがたきもの(枕草子) 大納言殿参り給ひて ※藤原伊周の人物像と一門の栄枯盛衰	・当時の宮廷生活について理解する(毛抜きは常に使う)。 2、3、4段落は一言で言うとは何を表しているか考える。 ・伊周19歳、定子16、(隆家14)、一条帝13、清少納言27 伊周は漢学の第一人者、容姿端麗、政治力無し。 独りごつ、驚く、指貫、袖をひかふ等の語彙を学ぶ。 漢籍の知識を踏まえての「鶏」からの連想、函谷関。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	5	漢文史伝	三国志の世界 「乱世之姦雄」 「三往乃見」 「当刮目相待」 「進遇於赤壁」 ※日本人と三国志	・漢文の基本構造を理解し、読解する。 魏：三国志の主人公 曹操孟徳 黄巾の乱。 蜀：劉備玄德、桃園の誓い、三顧の礼、天下三分の計。 呉：若き後継者 孫権、人材登用、周瑜 レッドクリフ、曹操53歳、劉備47歳、孫権26歳	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	6	古文物語 古文日記	廃院の怪(源氏物語) 明石の君の苦悩 ※源氏物語の世界 うつろひたる菊(蜻蛉日記)	・源氏と葵の上、六条御息所、車争い、生き霊。 ・宿曜の占い「3人の子、帝(冷泉帝)、中宮(明石の姫君)、太政大臣(夕霧)」 ・通ひ婚(政略結婚・恋愛結婚)、藤原兼家の家庭内事情。 接続助詞前後での動作主体の継続、変化を把握する。 方塞がりの方違へ。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	7	古文日記 漢文史伝	夢よりもはかなき世の中を(和泉式部日記) ※女流日記文学と皇室、藤原氏、平氏 刎頸之交(史記)	・敬語の種類、使役、接続助詞等で動作主体を把握する。 文法・語彙、人物関係、双方から和歌を解釈する。 ・漢文の基本構造を理解し、読解する。 所以・況んや等の語義、羞・肯・畏・讎などの字義。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	9	古文日記 古文物語	秋のけはひ(紫式部日記) 和泉式部と清少納言 ※平安時代の文学—女性と仮名 東風吹かば(大鏡)	・「る」の識別、撥音便無表記「べかめる」 ・「む」の識別 ・歴史物語の特徴を理解する。 道真の祟り→太宰府天満宮→鎮魂→学問の神様(天神様)	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	10	古文物語	三舟の才 肝試し	・「影をば踏まで」→「三舟の才」 ※藤原公任と藤原道長 ・『大鏡』の中心人物は入道殿(藤原道長) 接続助詞前後での動作主体の変化を把握する。 「肝試し」→「花山院の出家」	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
	11	漢文思想	孟子 荀子 老子 莊子 ※諸氏の思想と寓話	・儒教の徳治主義、五常（仁、義、礼、智、信）、性善説 ・生涯学習「学は以て己む可からず」 ・道家の無為の治 ・無為自然、道教の祖	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査
	12	古文評論	古今和歌集仮名序 ※勅撰和歌集(八代集) 俊頼髓脳 無名抄	・一段落暗唱、「三十一文字(みそひともじ)」 巻頭に仮名序、巻末に真名序 ・折句→沓冠折句→入試問題演習 ・古文の評論文を読解する。	・発問評価 ・提出課題 ・問題集 ・定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしているか。
読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め発展させているか。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。

4. 評価法

<p>授業に取り組む姿勢や授業中の発問評価で関心・意欲・態度の評価を行う。</p> <p>学習プリント、問題集の提出、定期考査で読む能力、知識・理解度の評価を行う。</p>
--

5. 担当者からのメッセージ

<p>第一に、様々な古典文学作品に触れることで日本語文化の背景を経験的に理解したい。</p> <p>第二に、語彙・文法の知識と、時代背景の理解との、両面からの読解力を身に付けたい。</p>
--